



第 15 回 東京エリア Debian 勉強会 事前資料

Debian 勉強会会場係 上川純一*

2006 年 4 月 15 日

* Debian Project Official Developer

目次

1	Introduction To Debian 勉強会	2
1.1	講師紹介	2
1.2	事前課題紹介	2
2	Debian Weekly News trivia quiz	3
2.1	2006 年 8 号	3
2.2	2006 年 9 号	3
2.3	2006 年 10 号	3
2.4	2006 年 11 号	4
2.5	2006 年 12 号	4
2.6	2006 年 13 号	4
2.7	2006 年 14 号	5
2.8	2006 年 15 号	5
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	6
3.1	東京エリア Debian 勉強会 14 回目報告	6
4	Debian policy	7
5	Debian TeX のファイル構造	8
6	Debian latex の現状調査	9
6.1	platex で PDF を作成する方法	9
6.2	jlatex	10
6.3	cjk-latex	10
6.4	pdfelatex	10
6.5	multex	10
6.6	lambda (omega)	11
7	次回	12

1 Introduction To Debian 勉強会

上川純一



今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian のあやしい世界に入るという方も、すでにどっぷりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

目的として下記の二つを考えています。

- メールではよみとれない、もしくはよみとってられないような情報を情報共有する場をつくる
- まとまっていない Debian を利用する際の情報をまとめて、ある程度の塊として出してみる

また、東京には Linux の勉強会はたくさんありますので、Debian に限定した勉強会にします。Linux の基本的な利用方法などが知りたい方は、他でがんばってください。Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作りながらスーパーハッカーになれるような姿を妄想しています。

Debian をこれからどうするという能動的な展開への土台としての空間を提供し、情報の共有をしたい、というのが目的です。次回は違うこと言ってるかもしれませんが、御容赦を。

1.1 講師紹介

- 上川純一 宴会の幹事です。

1.2 事前課題紹介

今回の事前課題は「Debian で文書はこうやってつくっています」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。というものでした。その課題に対して下記の内容を提出いただきました。

1.2.1

1.2.2 上川

2 Debian Weekly News trivia quiz

上川純一



ところで、Debian Weekly News (DWN) は読んでいますか？ Debian 界限でおきていることについて書いている Debian Weekly News. 毎回読んでいるといろいろと分かって来ますが、一人で読んでいても、解説が少ないので、意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで DWN を読んでみましょう。

漫然と読むだけではおもしろくないので、DWN の記事から出題した以下の質問にこたえてみてください。後で内容は解説します。

2.1 2006 年 8 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/08/> にある 2 月 22 日版です。

問題 1. Debian etch beta1 インストール用メディアにどのような問題があったか

- A 最新じゃないのでつかってられない
- B メディアが水に濡れて使えなくなった
- C Debian アーカイブの変更の影響で動かなくなった

問題 2. Debian Live Initiative は何をしようとするものか

- A 新しい開発をがんがんする
- B Debian の Live CD を統合する
- C リアルタイムハック実況中継のための環境を提供する

2.2 2006 年 9 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/09/> にある 2 月 28 日版です。

問題 3. ミラーシステムについて Anthony Towns が発表したのとは何か

- A i386 と amd64 だけに限定して今後は運用する
- B 全アーキテクチャを含めた巨大なミラーを継続
- C アーキテクチャ毎にミラーを分割する

問題 4. NMU を実施する際に、注意すべきことは何か

- A BTS を通してメンテナに通知すること
- B NMU なんてしてる暇があったら自分のバグを直す
- C できるだけメンテナにばれないように実施する

2.3 2006 年 10 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/10/> にある 3 月 7 日版です。

問題 5. AMD64/kFreeBSD について何がおきたか

- A はじめてパッケージが動いた
- B glibc/gcc/binutils がポーティングできた
- C chroot 内部で動作するようになり, builddd が動いている

問題 6. バックポートのサポートが公式になるのか, という質問についての回答は

- A Utunubu 広報担当によると Debian はもう時代遅れだ
- B Joseph Smidt によると, Debian はバックポートを主体として今後は活動続ける
- C Norbert Tretkowski によると, 公式なサポート付きのバックポートを提供することは考えにくい

2.4 2006 年 11 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/11/> にある 3 月 14 日版です。

問題 7. Bastian Blank が発表した, Debian カーネルチームの作業内容は

- A kernel-image- という名前から linux-image- という名前に変更しました
- B カーネルは FreeBSD のものに入れ換えました
- C 今後は SMP 版と Uniprocessor 版というだけでなく, 何 CPU の SMP かということで flavor を分けます

問題 8. Martin の後の安定版リリースマネージャは誰にならなかったか

- A Martin Zobel-Helas
- B Andreas Barth
- C Nobuhiro Iwamatsu

2.5 2006 年 12 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/12/> にある 3 月 21 日版です。

問題 9.

- A
- B
- C

問題 10.

- A
- B
- C

2.6 2006 年 13 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/13/> にある 3 月 28 日版です。

問題 11.

- A
- B
- C

問題 12.

- A
- B
- C

2.7 2006 年 14 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/14/> にある 4 月 4 日版です。

問題 13.

- A
- B
- C

問題 14.

- A
- B
- C

2.8 2006 年 15 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/15/> にある 4 月 11 日版です。

問題 15.

- A
- B
- C

問題 16.

- A
- B
- C

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川純一



3.1 東京エリア Debian 勉強会 14 回目報告

Debian 勉強会は Open Source Conference に出展しました。そこで、sid へのいざないについてやまねさんが、Debian 勉強会の紹介を岩松さんがしました。30 名ほど参加しました。

質疑応答もありました。

Q	A
勉強会は一方通行なものなのかインタラクティブなものなのか	インタラクティブです
インストール大会はしないのですか？	やろうと思ってる人が動けてないという現状です
インストールが難しいと思ってる人～？	いなかった。難しいと思ってる人がいないのが問題では？
reportbug の国際化はしないのですが？	途中やりらしいです（python で書かれてて国際化のフレームワークはあるみたいです）。岩松さんがやる？ なおレポート本体は英語で書かないといけません
apache の stable はバージョンが古いので一部だけ unstable にしたいという場合は？	一部だけ unstable ははまる可能性が高いので backports.org を使ったほうがよいです。メーリングリストに投げると 誰かやってくれるかもしれません unstable からパッケージを持ってきてビルドし直して独自のリポジトリを作るという手もあります
opera とかのフリーじゃないものを使うのは邪道ですか？	いいえ
勉強会に参加するのにどれだけの技術力が必要ですか？	むしろそれって何というつつこみを入れてくれる方歓迎。ただし、やってることを勘違いして来られるのは困ります

4 Debian policy

岩松



5 Debian TeX のファイル構造

上川



TeX policy について簡単に解説します .

6 Debian latex の現状調査

上川



まず, Debian の latex で日本語のドキュメントを処理するための手順について確認します. ここでは, 例としてドキュメントを準備し, そのドキュメントソースを PDF ファイルにするまでの手順を確認します.

6.1 platex で PDF を作成する方法

platex は ptex-bin パッケージに含まれています. tex ファイルから dvi ファイルを生成することができます.

```
$ platex debianmeetingresume200604.tex
```

dvi ファイルから PDF を作成する方法は, いくつかあります.

- dvipdfmx を利用する

毎月の Debian 勉強会用の資料を処理するのに利用している方法です.

```
$ dvipdfmx debianmeetingresume200604.dvi
```

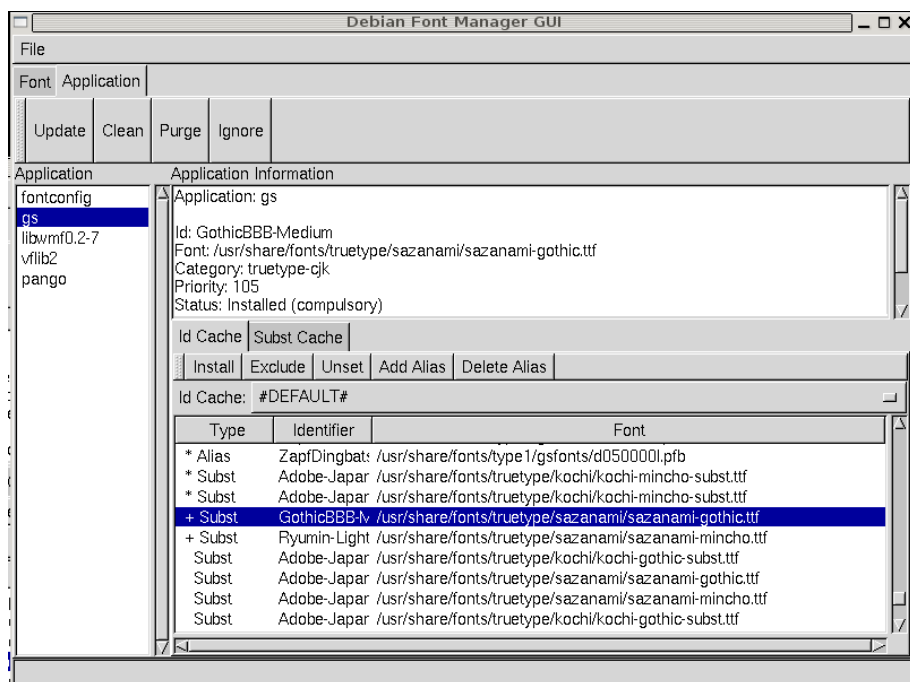
- dvips で PS を生成し ps2pdf を利用する

```
$ ps2pdf debianmeetingresume200604.ps
mktexpk: don't know how to create bitmap font for rml.
dvips: Font rml not found, characters will be left blank.
$ ps2pdf debianmeetingresume200604.ps
(結果の PDF ファイルには日本語の文字がまったく表示されない)
```

- dvi2ps で PS を生成し, ps2pdf を利用する

```
$ dvi2ps debianmeetingresume200604.dvi > debianmeetingresume200604.ps
$ GS_LIB=/usr/share/fonts ps2pdf debianmeetingresume200604.ps
(Ryumin-Light が見付からない, という gs のエラーが出力され途中で停止する)
```

現状 GS_LIB 環境変数の指定が必要になっているのと, Kochi フォントを利用しているとエラーを吐いて停止するという問題があります. dfontmgr を利用して, ps2pdf(gs) が利用するフォントとして kochi フォント以外を指定する必要があります. (参考: <http://lists.debian.or.jp/debian-users/200501/msg00008.html>, <http://kmuto.jp/d/index.cgi/debian/gs-esp-8151.htm>)



それぞれの方法にハイパーリンクや pstricks の扱いに癖があります。たとえば，dvipdfmx の場合は hyperref パッケージを読み込む際に，dvipdfm オプションを指定してあげる必要があります。

```
\usepackage[dvipdfm]{hyperref}
```

6.2 jlatex

jlatex は，jtex-bin パッケージに入っています。tex ファイルから dvi ファイルを生成することができます。

ただ，platex 向けの既存のドキュメントをコンパイルしようとするとエラーになります。jsarticle.cls などが platex 専用だからのようです。j-article などを利用する必要があるようです。また，このドキュメントに関してはそれだけの変更では処理できませんでした。

```
$ jlatex debianmeetingresume200604.tex
! LaTeX Error: File 'jsarticle.cls' not found.
(エラーがでてコンパイルできない)
```

6.3 cjk-latex

babel の CJK パッケージとして実装されており，通常の latex を利用して日本語を処理できるそうです。

/usr/share/doc/cjk-latex/examples にあるサンプルファイルすらコンパイルできないので，困りものです。

6.4 pdfelatex

Debian には部品が現状足りないようです。

参考：<http://cise.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/texfaq/qa/17780.html>

6.5 multex

パッケージをインストールしただけでは，サンプルファイルを処理してもフォントが一部足りないようで，表示されない文字があります。

参考：<http://lists.debian.or.jp/debian-users/200106/msg00081.htm>

6.6 lambda (omega)

<http://www.fsci.fuk.kindai.ac.jp/kakuto/soft.html> , <http://cise.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/texfaq/japanese/> などを参考にしてみてください．現状，実用的に既存のドキュメントをそのまま処理できるような形式ではないことがうかがえます．

7 次回



5 月 14 日開催予定です。Debian Conference の状況と抱負をお伝えできる予定です。
参加者募集はまた後程。



Debian 勉強会資料

2006 年 4 月 15 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
